2023年1月4日

2021年卒業生「二十歳の集い」

式辞

分かち合う喜び

二十歳を迎えられた青の皆さんにひとこと祝福をお祈り申し上げます。成年年齢が十八歳となりましたので、今年から「二十歳の集い」となりました。ご準備いただいた実行委員の皆さん、同窓会の皆様に感謝申し上げます。

さて皆さんの中には卒業されてから一人暮らしとなった方も少なくないでしょう。私も大学入学と共に下宿で一人暮らしが始まりました。当時はパソコンもスマホもありません。母屋に電話がかかってくると下宿のおばさんに呼び出されました。親からだと上品な声で、女性からだとぶっきらぼうに呼び出されました。毎日知らないことばかりで自信もなく不安でしたが、知ること経験することが何もかも新鮮でした。

皆さんも学業の厳しさ、バイトなどで社会の厳しさに驚いたり、寂しい思いや、食事がのどを通らなかったり、眠れない夜もあったかもしれません。二十歳を迎え、あらためて身近な人の存在、家族に感謝を覚えているのではないでしょうか。

残念ながら感染症は卒業後も続いています。入学したのに講

義はオンライン、フィールドワークや技能実習なども自粛、延期、中止されたこともあったのではないでしょうか。友だちと食事をしてゆっくり話すのも、サークル活動もままならなかったのではないでしょうか。そして長引くマスクの生活は私たちのコミュニケーションのあり方を考えさせています。

　またロシアのウクライナ侵攻によって尊い人命が失われ、祖国を追われたウクライナの難民は１千万人を超えました。互いの経済制裁によるエネルギー資源、穀物などの高騰、それが日本でも円安、物価高、そして安全保障と遠い国の問題と思っていたことが、いつの間にか身近な問題となっています。

　そして地球温暖化による気候変動は、昨年、線状降水帯となって静岡を襲いました。観測史上最大の経験のない豪雨となり浸水、停電、断水が続きました。英和女学院も大きな被害を受けました。これもまた身近なこととなりました。

　残念ながらどれも私たち人間が原因です。競争と成長の果てに独占と分断、格差が広がってます。尽きることのない欲望は弱い人間が互いを思いやり、分かち合ってきた本来の人間性を蝕み奪っているように思います。

　人として成長する、おとなになることは、確かに知識や経験を積み重ねていくことです。しかしそれは自分のためである前に、互いを思いやり分かち合うためです。それが生きる喜びと

感謝につながります。ルールのある競争は互いを向上させるかもしれませんが、互いをリスペクトできない競争はただ欲望に翻弄されるだけで共に滅んでしまいます。人生に勝者も敗者もありません。ただ互いに愛し合うものに生きる喜びと感謝が与えられます。皆さんは英和女学院でそれを学び、養われ、いま気づき、確かめている時にあるのではないでしょうか。皆さんの前途に神様の祝福と導きをお祈りしています。

2023 年 1 月 4 日

校長　**大橋　邦一**